

28原機(再)094

平成29年3月8日

原子力規制委員会 殿

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

理事長 児玉敏雄

「北陸電力株式会社志賀原子力発電所2号炉の原子炉建屋内に雨水が流入した事象に係る対応について(追加指示)」に係る報告(東海再処理施設)

平成29年2月8日付け「北陸電力株式会社志賀原子力発電所2号炉の原子炉建屋内に雨水が流入した事象に係る対応について(追加指示)」(原規規発第1702083号)により対応の指示があった事項について、別紙のとおり報告いたします。

別紙「北陸電力株式会社志賀原子力発電所2号炉の原子炉建屋内に雨水が流入した事象に係る対応について(追加指示)」に係る報告(東海再処理施設)

「北陸電力株式会社志賀原子力発電所 2 号炉の原子炉建屋内  
に雨水が流入した事象に係る対応について（追加指示）」  
に係る報告（東海再処理施設）

本書の記載内容のうち、内の記載事項  
には核物質防護情報が含まれているため削除  
しております。

平成 29 年 3 月 8 日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

## 目次

1.	はじめに	1
2.	対応計画	1
2.1	止水措置（恒久的対策）	1
	（1）鉄扉の止水措置	1
	（2）ケーブルダクトの止水措置	1
2.2	止水措置完了までの応急処置	1
3.	今後のスケジュール	2

### 添付資料

- 図1 ユーティリティ施設の止水措置対象概要図
- 図2 止水措置完了までの応急処置の概要

## 1. はじめに

本報告書は、志賀原子力発電所2号炉の原子炉建屋内に雨水が流入した事象を踏まえ、平成29年2月8日に追加指示（「北陸電力株式会社志賀原子力発電所2号炉の原子炉建屋内に雨水が流入した事象に係る対応について（追加指示）」原規規発第1702083号）を受けたことから、対応計画について報告するものである。

### 〔指示された対応内容〕

1. 止水措置を実施していない建家の外郭貫通部に対し、速やかに止水措置を実施することにより、外部からの浸水に対する原子力施設の安全性を向上させること。
2. 止水措置の実施が完了するまでの間は、当該貫通部に対する外部からの浸水を監視するとともに、浸水に至る蓋然性が高い状況を検知したときは、これを防ぐ応急処置を実施すること。
3. これらの措置を実施するための計画を策定し、平成29年3月8日までに報告すること。

## 2. 対応計画

止水措置を実施していない建家の外郭貫通部は、ユーティリティ施設地下ピットと隣接するトレンチ（T25及びT26）の間の貫通部（鉄扉2箇所及びケーブルダクト貫通部18箇所：図1参照）であり、トレンチ（T25及びT26）からの浸水を防止するための止水措置を以下のとおり計画する。

### 2.1 止水措置（恒久的対策）

#### (1) 鉄扉の止水措置

想定される水位（約7.0m<sup>\*1</sup>）に耐え得る閉止板を設置し、鉄扉が設けられている開口部を閉止する。

※1：各トレンチの床面から地上までの高さは、トレンチ（T25）が約6.2m、トレンチ（T26）が約7.0mであることから、想定水位を7.0mとした。

#### (2) ケーブルダクトの止水措置

ケーブルダクト内にシール材を充填することにより貫通部を閉止する。

### 2.2 止水措置完了までの応急処置（図2参照）

止水措置が完了するまでの間、以下の応急処置を行う（実施済み）。

- ① 隣接するトレンチ（T25及びT26）からユーティリティ施設地下ピット内への浸水を想定し、トレンチ（T25及びT26）及びユーティリティ施設地下ピット内に想定浸水量<sup>\*2</sup>以上の能力を持つ排水ポンプを配備した。

※2：トレンチ（T25及びT26）には上部ハッチ（各2箇所）があり、当該ハッチを含む周辺5m×5mの範囲の雨水が当該ハッチから浸水することを想定。また、降雨量は、茨城県土木部制定「開発行為の技術基準」の降雨強度値106.46mm/hを想定した。なお、当該降雨強度値は、茨城県水戸市における観測史上最大の降水量81.7mm/hを上回っている。

- ② 監視体制を強化し、核燃料サイクル工学研究所で観測している降雨量が25mm/h（東海村の大雨注意報の基準）を超えるおそれがある場合には、トレンチ（T25 及び T26）の上部ハッチを土嚢にて養生する。また、降雨量が25mm/hを超えた場合は、2時間に1回<sup>※3</sup>、トレンチ（T25 及び T26）及びユーティリティ施設地下ピット内への浸水の有無を目視で確認する。

浸水が確認された場合は、排水ポンプを運転する。

※3：トレンチ（T25）へ浸入した雨水が、ユーティリティ施設地下ピットの開口部に達するまでの時間（約 2.1h）から設定。

### 3. 今後のスケジュール

ユーティリティ施設の止水措置に係るスケジュールを下表に示す。

止水措置スケジュール

項目		平成28年度		平成29年度					備考	
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		9月
応急処置	1.排水ポンプの配備・運用	配備 <input type="checkbox"/>								
		運用	[Bar chart showing operation from Feb to Sep]							
	2.監視体制の強化		[Bar chart showing reinforcement from Feb to Sep]							
止水措置	1.鉄扉(2箇所)の止水							[Bar chart showing work in Aug and Sep]		
	2.ケーブルダクト(18箇所)の止水							[Bar chart showing work in Aug and Sep]		

以上

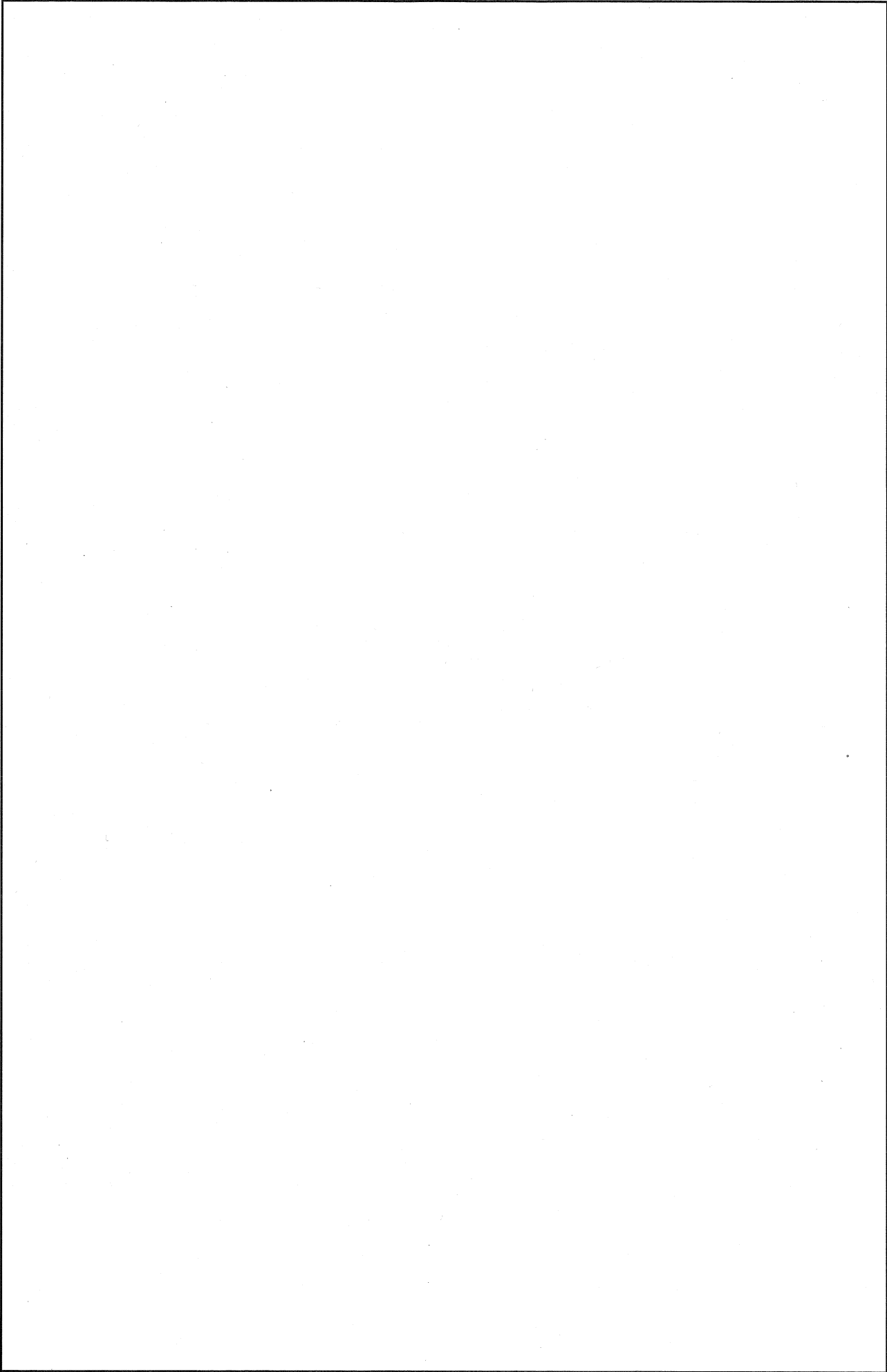


図1 ユーティリティ施設の止水措置対象概要図

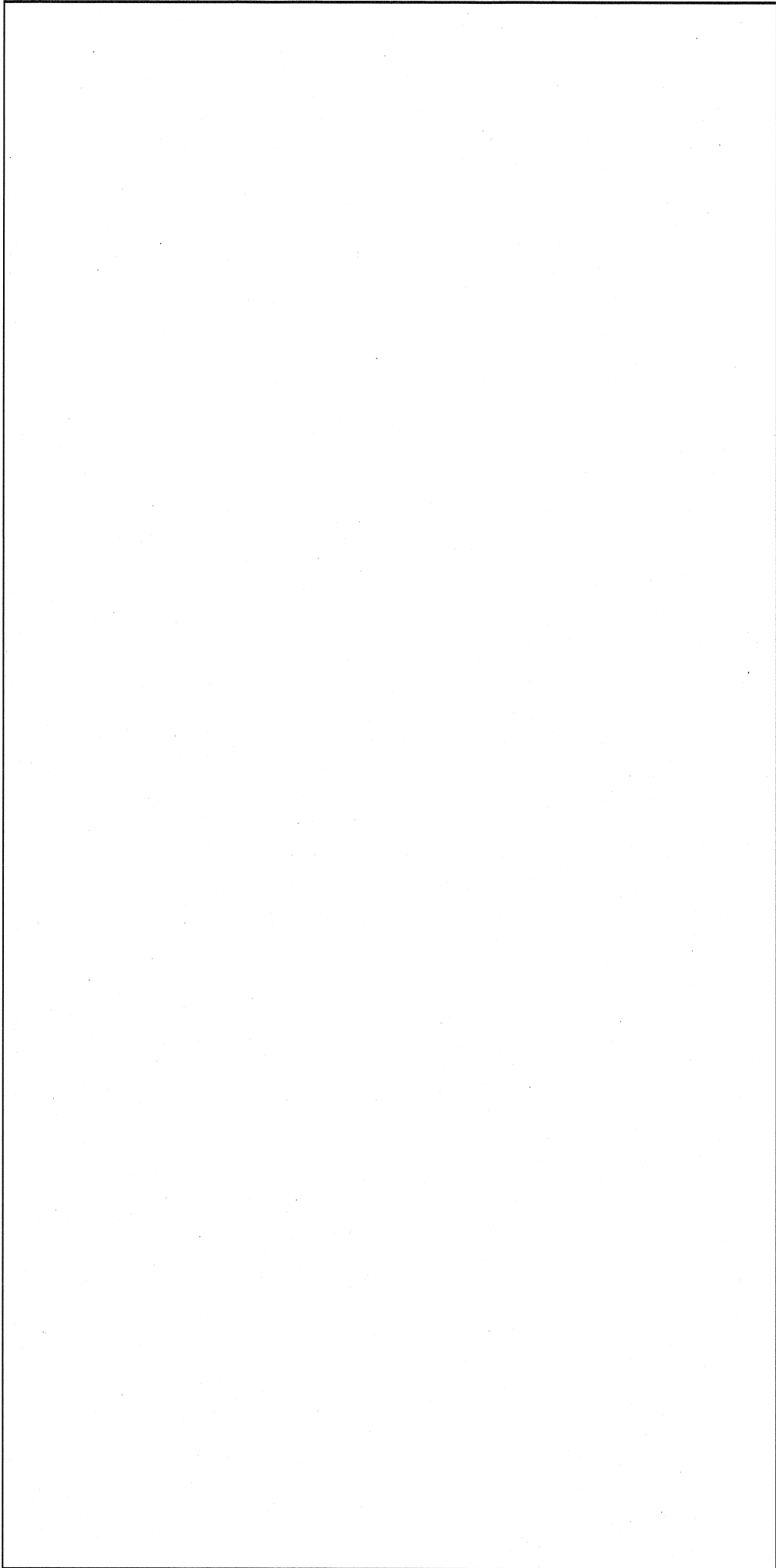


図2 止水措置完了までの応急処置の概要